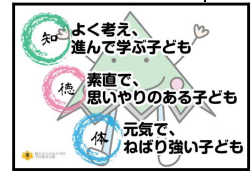




川内小学校だより

ゆずり葉

第3号
令和元年6月7日
桐生市立川内小学校発行



1 学期の折り返し時期となり、各学年の行事や活動が目白押しです。

5月から6月にかけては、いずれの学年も様々な行事や活動に取り組んできています。各学年の校外学習では、市内・外の施設に見学に出かけたり活用したりと、教室では学べないことを見聞きしたり体験したりします。どの学年も意識を高く持ち、規律あるすばらしい態度で臨めることができているとの報告をもらっています。

私自身も先日4年生と一緒に清掃センターと消防署見学の校外学習に参加してきました。気持ちを集中させながら説明を聞いたり施設を見たりする子どもたちの態度は充実していました。

少し前の5月末には、5年宿泊学習のキャンプファイヤーに参加しました。5年生の活気ある雰囲気はさすがに高学年だと感じました。主体性が存分に感じられる進行と内容を目のあたりにしながら、この行事や活動を通して子どもたちの心の成長がまた1つレベルアップしていることを実感しました。



バスに乗って少し遠くまで出かける学年もあれば、3年生のようにバスは利用せず、長い距離の徒歩と電車を使って出かけた学年もあります。学年発達に応じた内容を構成していますが、こうした中では安全面を十分に配慮しながら、知識を増やし技能を高め、そして心の成長を目指した活動となるよう努めて参りたいと考えております。郊外での学年行事や活動が実施された日の夜には、ぜひ、お子さんから、これについての話を聞いてくださいね。(こどもにとっては絶好の復習の機会となります。)

間もなく水泳学習が始まります

6/5(水) プール開きを兼ねた全校朝会を行いました。水泳は小学生にとって、特に一般的な傾向として下の学年の子どもたちほど好んで取り組む体育的な学習です。これを充実させながら、健康・体方面にも効果が上がるように取り組んでまいりたいと考えています。朝会の中では子どもたちへのお願い・約束をいくつかしました。水泳学習は1つ間違えると大きな事故につながることもあるため、先生の話やルールはきちんと守ること。そしてもう1つは、「すくすくウィーク」とも関連しますが、睡眠時間をしっかりと確保することをお願いしました。時々、担任や保護者から、子どもが夜遅い時間までテレビにかじりついていたり、ゲームやネットに長い時間を費やし、就寝時刻が遅れ結果的に睡眠不足になっているとの報告をもらいます。みなさんご存知のように、水泳には睡眠不足が最も悪い要因の1つに挙げられています。日常の体調不良にも影響することです。これから先、ますます暑くなり、短時間で体力が低下する季節でもありますので、生活のリズムを振り返り、必要に応じて改善を心がけてまいりましょう。

水泳学習の始まりにあたり、教職員による救急救命法講習を行いました！

先日、消防署の方々にご協力いただき、川内小体育館で緊急事態に対応するための講習会を開催しました。学校によっては保護者にも呼び掛けて、保護者と教職員が一緒に参加している学校もたくさんあります。本校は夏休みのプールに保護者の応援をお願いしなくなった関係で、現在は教職員だけで行うようになりました。



心肺蘇生法やAEDの使用については、特に水泳学習だけが関係するわけではありませんが、少なくとも水泳時期の前までには実施しておきたいものです。教職員は、少なくとも毎年1回はこの講習会を受けるようにしておりますが、できればこれを必要となる事態が起こらないでほしいものです。

しかし、万が一という場合に備えておくことは大切です。ダミー人形を相手に心臓マッサージや人工呼吸、そしてAEDの使用方法について真剣に学ぶ機会となりました。

【保護者の皆様へお願いです。教室での写真・動画の撮影について】

教室での授業参観時などにおける写真撮影・動画撮影については、

- ① 限られた狭い空間の中、子どもや授業者の集中力・意欲を損なわないために、
- ② 保護者同士、親としての常識・良識をふまえながらお互いへの配慮として、

「できるだけ撮影はしない・控える」

ということで、ご理解・ご協力をお願いいたします。<6月下旬にも、授業参観が予定されています>

まだ川内小ではこれまで大きな問題にはなっていませんが、近年、全国的な問題として、上記②にかかわる点で“学校の教育活動の際、他の保護者が撮った画像の中に、我が子が写りこんでいるような気がして、その後データがどうなるのか”と心配する声は、どの学校においても広がってきています。

撮影する保護者の意識はあくまで“我が子が活動している姿を残したい”という思いからの行為であることは理解できます。ところが集団での活動においては、撮影する枠内に我が子1人だけを写すのは非常に難しく、近くや後ろにいる複数の子どもたちも当然写り込んでしまいます。

体育館での学芸的発表や、校庭での運動会など広い場所での活動においては、教室のように狭い空間とは違うので、とらえ方が違ってくると思われませんが、いずれにしてもデータは消去しない限り残るものなので、大人みんなが良識をもって、お互い十分に配慮していく必要があるように感じます。



<これまでは深く考えずに撮影してきましたが…>